

BOSE

導入事例 - ライブミュージック | ONIONMUSIC

onmusic



ONIONMUSICの誕生

Onionは、テムズ川に浮かぶ、幅約14 m、26トンのスチール製の荷船です。2015年12月から、ボビー・ルノー氏と妻のヘレナの住居となっています。ルノー夫妻が米国から英国に移住してきたのがすべての始まりでした。二人は、生活のための場所を探していたのです。

「ずっとボートの上で生活したいと思っていました。ヘレナが荷船を購入することを思いつき、それに大賛成したのです」とルノー氏は笑って話します。

Onionは、二人が最初に見たボートで、すぐに気に入ったと言います。テムズ川で居住するにはライセンスが必要ですが、それがあれば、24時間、テムズ川沿いのどこにでも停泊して休むことができます。Onionは、秋から春にかけて、夜間はステーンズからキングストンの間のどこかに停泊しています。そして、夏になるとオックスフォードシャーまで上っていきます。

水と音楽を用いてアーティストと地域社会をつなげる

2020年の春にパンデミックが始まった頃、ハーモニカの練習を始めたルノー氏は、Onionを水上ステージとして活用するアイデアを思いつきます。ソーシャルディスタンスやシャットダウン政策により、演奏の場のない音楽家にその場を提供するためです。

「当初、テムズ川沿いのパブに伝えていたのは、Onionを店舗の近くに停泊させて、プライベートパーティーのようなものを開き、ボート上で音楽を演奏するというのです。ボートはどこにでも停泊でき、路上パフォーマンスのルールも守ることができます」とルノー氏は述べます。「パブの経営者やマネージャーに相談して、パブのお客さんからチップをもらってもいいか訊ねました。こうすることで、パブのライセンスに抵触することなく、ソーシャルディスタンスも保つことができます。パブからの反応はとても前向きなものでした」

ルノー氏は、すでにボーズの支持者であった、友人でアーティストのトム・ディップ氏の協力のもと、このコンセプトを試してみることにしました。そして、最初の週末の報酬としてディップ氏が£375を獲得し、その金額を超えた分はルノー氏の取り分になるという契約を交わしました。

「その週末、£376のチップを稼ぐことができました。私の取り分の£11は今でも取ってあります」とルノー氏は述べます。

OnionMusicの当初の役割は場所を提供することであり、サウンドシステムはアーティスト自身が持ち込んでいました。しかし、イベント規模の拡大に伴い、ミュージシャンのために常設のサウンドソリューションを用意する必要がでてきました。そこでルノー氏は、自身が運営する別のプロジェクト、「Nashville Direct」(ナッシュビルのアーティストを英国に招いて演奏させるためのプロジェクト)を通じて、Bose Professionalにコンタクトを取りました。



ボーズのサウンドシステムが、ミュージシャンとリスナーの双方にクリアなサウンドと喜びを届ける

OnionMusicは、会話や食事をしている人々に風の中でも聴こえるだけの大音量に対応できるだけでなく、小さな音量でもクリアなサウンドを提供できるオーディオソリューションを必要としていました。さらに、川岸の住人に迷惑をかけないよう、音の指向性を正確に制御する必要がありました。そのためには、調整可能なサウンドカバレッジが不可欠でした。

「ボーズの機器、特にS1とL1 Pro16を採用して、本当に良かったと思います。セットアップはシンプルで、使いやすく、風や雨、人々の話し声の中でも、澄みきったサウンドを届けることができます」

— ポビー・ルノー氏
OnionMusic、オーナー

Onionは、細部まで入念に作り込まれた高品質サウンドを実現するために、まず、L1 Model IIとT4S ToneMatchミキサーを導入しました。そして今季はそこに、L1 Pro16ポータブルラインアレイシステム、T8S ToneMatchミキサー、そして3台のS1 Proシステムを追加しました。L1 Pro16は、クリアなオーディオと卓越したカバレッジを備え、あらゆる音楽のスタイルやセットアップに対応できるため、すぐにOnionの主要システムとなりました。また、L1 Pro16を導入したことにより、もともと使用していたL1 Model IIを、ボーズの支持者である英国の同僚に譲ることもできました。

創造性を支えるソリューションを提供

OnionMusicは、テムズ川沿いのリッチモンドとオックスフォードの間に位置する、あらゆる店舗にサービスを提供しています。最新イベントの「OnionMusic Goes Ashore」では、英国中からさまざまなアーティストを迎えています。これだけ才能あふれる、幅広いパフォーミングアーティストがOnionに出演しているのは、ルノー氏の広い人脈のなせるわざです。同氏は、演奏の場を水上で提供することに大きな喜びを感じていると言います。

「このコンセプトすべてにとっても満足しています。パンデミックのさまざまな規制を守りつつ、ライブ音楽を人々に届ける革新的な方法を見いだすことができました」とルノー氏は述べます。「この困難な時期に、ミュージシャンに演奏の場を提供できる喜びは、やりがいという言葉では言い尽くせません。本当に恵まれていると感じています。ボーズは、このプロジェクトをすばらしい成功へと導いてくれました」

システムのコンポーネント

L1 Pro16ポータブルラインアレイシステム

S1 Proシステム

T4S ToneMatchミキサー

T8S ToneMatchミキサー



L1 PRO16

L1 Pro16ポータブルラインアレイは、パワフルな出力とこれまで以上の低音域を実現した、バランスのいいシステムです。16個の2インチアーティキュレーテッドネオジムドライバーを搭載したJ字型ラインアレイにより汎用性の高いカバレッジを提供します。180°の水平カバレッジ、タイトな上部垂直コントロール、ワイドな下部放射で、中規模から大規模の会場に最適。フロアに設置しても、ステージ上に設置しても、会場の隅々までオーディエンスをカバーします。



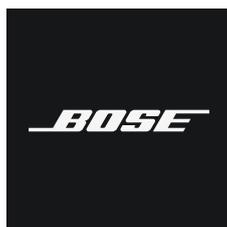
TONEMATCH

内蔵のToneMatchプロセッシングとzEQが驚きのサウンドを創り出し、細部まで入念に作り込まれた高品質サウンドを提供。ToneMatchミキサーは頑丈な設計に加えて、直接操作できるコントロール、見やすいLEDディスプレイ、シーンリコール機能を搭載。ステージ上で思い通りのパフォーマンスを発揮できます。ToneMatchミキサーはステージ上でパフォーマンスを繰り広げるすべてのアーティストのために開発された究極のミキサーです。



Bose Professionalは、劇場、芸術センター、礼拝施設、競技場、飲食店、学校、小売店舗、宿泊施設やオフィスビルなど、世界中の様々な市場に高品質なサウンドを提供しています。

プロオーディオ業界のお客様にとって、アンプやスピーカーが単なる製品以上のものであることを、私たちは知っています。私たちボーズ製品の先には、お客様のビジネスがあり、お客様の評判があり、暮らしがある。Bose Professionalの製品を購入することは、世界中のBose Professionalチームによる手厚いサポートを得るということと同意義です。ボーズは、製品の購入は、パートナーシップの始まりだと考えています。



[PRO.BOSE.COM](https://www.pro.bose.com)